

柵越え連発 中軸好調

光星 きょう組み合わせ抽選

打撃練習で快音を響かせる益田敦成(3日)、兵庫県
尼崎市ベイコム野球場



距離打撃や、140メートルに設定したマシン打撃で練習に励んだ。中軸の田城飛翔、益田敦成や櫻井一樹らが柵越えを連発し、打線の好調ぶりをうかがわれた。櫻井は「右足に体重を乗せて、しっかり引き付けて打つことを意識した」と話し、柵越えについては「何本打ったか自分でも覚えていない。調子はまた上げられるので、本番にヒークを持っていきたい」と淡々と初戦の日程に合わせて調整するため、関西入り後はまだノースロー。「早く投げたい」と、登板を心待ちにしていた。

4日は午前中に同球場で練習した後に、午後4時から大阪市内で開かれる組み合わせ抽選に臨む。
(林泰輔)

地元を懐かしむ
○…益田は尼崎市出身。3日の練習会場となったベイコム球場に来るのは小学6年以來だ。「自分の体が大きくなったからか、球場が小さく見える」と、地元を懐かしんだ。中学時代の友人も見守る中で打撃練習に励んだ。尼崎のスラッガーは、気合が入ったのか、柵越えを連発した。「1日空いての打撃練習だったが、よく振れている」と調整の順調さをアピールした。練習後に友人から「頑張れよ」と激励を受けた益田は「試合でも右中間を意識した自分の打撃をしたい。その姿を見たらえれば」と奮闘を誓った。

①小淵智輝弘(2年)＝東京・神代中出



甲子園だよ

夏に関西地方に来るのは初めてで、暑さに少しびっくりしています。ベンチ入りして甲子園に来るのも初めてだったので、甲子園練習は、憧れ

関西の暑さにびっくり

午前9時ごろから約2時間実施。投手をマウンドよりも数分手前に立たせる近の場所であって興奮しました。甲子園での守備練習はミスなくこなすことができました。普段の練習では集中力が維持できていないと監督やコーチから注意を受けるので、もっと集中したいと思います。2年では唯一のベンチ入り。メンバーから漏れた同級生の分まで、自分のできることを精いっぱい頑張りたいです。